

## 地域の皆さんの情熱を 学校園の教育に活かそう！

### 寄島っ子の未来を考えるワークショップ

11月16日(火)、寄島小学校で、岡山大学の中山芳一准教授を講師に迎えて、「寄島っ子の未来を考えるワークショップ」が開催されました。中山准教授は、「子どもたちの自己肯定感を高めるためには、点数化しにくい非認知能力の育成が大切である。校訓や目指す子ども像には、非認知能力の育成を目指すものが多いが、それを言語化・具体化していかないと絵に描いた餅になってしまう。」と説かれました。

「寄島学園」の参加者は、9班に分かれて、大人たちは、「寄島っ子にできるようになってほしい非認知能力」、子どもたちは、「寄島っ子のできている非認知能力」という視点で話し合いました。話し合いの成果は、これからの行動に繋がるように模造紙にまとめて発表し、情報を共有しました。大人たちは、「寄島の子どもたちを、みんなで育てていこうという一体感が感じられた。」子どもたちは、「自分では、できていると思っていたことでも、地域の人たちはもっとこうしてほしいと思って、自分たちに期待していることがわかってよかった。」と振り返っていました。

最後に、岡山大学の梶井一暁教授から、「自分が育つ郷土に誇りが持てなくて、自己に自信が持てるのだろうか。伝統文化や絆、思いやり、規範意識等は、教育上必要な要素なので、学校・家庭・地域で連携しながら育ててほしい。」と激励されました。

中山芳一先生の講話[R3.11.16(火)]



- ★「認知能力」とは、読み・書き・そろばんに代表されるような点数化しやすい能力
- ★「非認知能力」とは、意欲・忍耐力・自制心・思いやり等、点数化しにくい能力



梶井一暁教授の総括[R3.11.16(火)]



キラリ5【家庭・地域と協働のキラリ】

キラリ4【子どもたちの活動のキラリ】

参加した感想を発表する寄島の児童・生徒



阿部山分校前での記念写真[鴨方西小：R3.11.29(月)]

### 阿部山で 歴史と自然の学習！

11月29日(月)、鴨方西小学校の6年生が、阿部山分校を訪問して、阿部山の開拓や分校の歴史、地区の現在の生活について学びました。

50年以上前のままの教室で、卒業生の中原義夫さんからエニシダやリンドウの実物を見せてもらいながら、雨の少ない地域ならではの作物作りに打ち込んできた歴史を聞きました。その後、児童は安倍清明ゆかりの神社を見学したり、阿部山キャンプ場で、学運協の委員さんが準備してくれたレクリエーションをしたりして楽しく過ごしました。6年生が地域のことを積極的に学んだり、地域の方々と交流したりしたことに対して、備中県民局から「わかば賞」が贈呈されました。